



卒業生に送る言葉

PTA会長 菊地 絵美

卒業生の皆さんご卒業おめでとうございます。

保護者の皆様におかれましても感慨深い思いでこの晴れの日を迎えられました事を心よりお祝い申し上げます。

三年生の皆さん、充実した高校生活を送る事はできましたか？コロナ禍でいろいろと制限がある中、思い描いていた楽しい高校生活が送れなかったかもしれない。しかし、そんな困難な状況の中でもいろいろな経験をさせていただき、実習や授業に励み、資格を取得し、仲間と共に助け合いながら立派に成長してきました。どんなことにも前向きに頑張る事ができたのも、いつでも温かく見守ってくれた校長先生や副校長先生、先生方が生徒一人ひとりに向き合ってご指導してくれました。先生方が思っております。それに中学校では行く事ができなかった修学旅行に何とか行かせてあげたいと頑張ってきた事、本当に感謝申し上げます。ありがとうございます。

皆さんはそれぞれの夢へ向かってこれから旅立ちます。新しいスタートで不安と希望でいっぱいだと思いますが皆さんなら大丈夫です。これからも夢を叶える為の努力を惜しまず、チャレンジ精神を忘れないでください。自分を信じ、時には周りの人に助けを借りながら、大きく羽ばたいていってください。皆様のこれからの活躍を期待しております。

最後になりますが、保護者の皆様には三年間、子供たちの為にPTA活動にご支援、ご協力を賜りました事を心より感謝申し上げます。

ご卒業おめでとうございます

校長 江森 忍

皆さんは高校卒業という大きな節目を迎え、新たなステップへと進むにあたり、今どのような気持ちでしょうか。卒業は、皆さんが高校を出て社会の中へと歩みを進める人生の節目です。これからの人生において自立と責任が一層重要になる時期の始まりです。卒業後就職して仕事をする人も、進学してさらに学業に励む人も、これまで育ててくれた保護者の皆さんに感謝すると共に、卒業を機に、その意味で独り立ちしてほしいと思います。

これから始まる新たな生活で、皆さんが農産高校で学んできた知識や経験は、充実した人生を作っていくための貴重な武器となるはずです。自立は、自分自身のことを自分で決めることができる、その一方で、結果に責任を持つことにもなります。これからはじまるそれぞれの人生、重要な選択を迫られる場面が何度もあるでしょう。その時どのような選択をするか、それによって皆さんの人生は変わってくるのです。

「夢を求め続ける勇氣さえあれば、すべての夢は必ず実現できる。いつだって忘れないでほしい。すべて一匹のねずみから始まったということ。」これは、世界で最も成功したアニメスタジオ「ウォルト・ディズニー・カンパニー」の創始者、ウォルト・ディズニーの言葉です。彼のビジネスは小さな販売会社からスタートし、度重なる失敗と成功を重ねた末に、現在は世界中の

子どもたちから愛され、夢を与えるディズニーの名として世界中に知られるまでの企業へと成長しました。

今、そして皆さんが歩んでいくこの先の未来は、変化の時代、不確実な時代と言われています。その中で挑戦することは勇氣が必要ですが、でも、勇氣をもって困難を乗り越えることで、皆さんはさらに成長し、夢に近づくことができます。大学や社会で、さまざまな経験をすることで、自分自身を信じ、常に前向きに人生を楽しんでほしいと思っています。

皆さんが、今後の人生で自分の夢を実現し、幸せに暮らしてこころを心から願っています。皆さんの未来が光り輝くものでありますように。卒業おめでとうございます。





人生に幸せなことがたくさんありますように

副校長 金子 雄

卒業おめでとうございます。農産高校での三年間、皆さんは何を学びましたか。園芸デザイン科、食品科、それぞれの学科で多くのことを学び、経験し、成長することができたのではないのでしょうか。進路実現をはじめ、それぞれの目標達成に向けて努力を重ねたこと、友達との思い出、先生とのやりとり、部活動や学校行事など、忘れられない出来事がたくさんあったことと思います。三年生の皆さんの活躍は、農産高校を元気にしてくれました。三年前、数ある学校の中から農産高校を選んでくれて本当にありがとうございます。ここで学んだことを誇りに思っ
て巣立って行ってほしいと思います。皆さんは将来に向けて無限の可能性を持っています。先生たちは皆さんの夢や目標が叶うことを心から願っています。

十三年前、私もこの学校で卒業生を送り出しました。忘れもしない二〇一二年三月十一日です。卒業式の後にあの東日本大震災が発生したのです。卒業生三〇名の門出の日に起きた、未曾有の出来事。その後も情報化社会の進展、コロナ禍、ウクライナ戦争、予想しえなかったことや変化が世界中でおこり、私たちの身の回りにも様々な変化がありました。この先の時代も、きっと色々なことがおきるでしょう。私自身も、農産高校を離れていた十二年間で、二人目の子どもが生まれました。父親や祖母が亡くなり、また伊豆大島土砂災害に遭遇するなど、思いもよらないことが公私にたくさんありました。

これから、皆さんはそれぞれで自分の道を切り開いていくこととなります。高校卒業は一つの節目ですが、新しい始まりでもあります。これから良いことも悪いことも、酸いも甘いも色々な人生の出来事があるでしょう。そして様々な出会いと別れが待っていると思います。どんなことがあっても「ピンチはチャンス」。あきらめずに人生を歩んでいってほしいと思います。皆さんの人生に幸せなことがたくさんありますようにお祈りして、お祝いの言葉といたします。



旧生徒会長より挨拶

及川 兼佑

私たち生徒会は一般生徒の意見に耳を傾け、それぞれの公約に基づいた活動を行いました。今年度は昨年よりも制限が少なくなったとはいえ、完全ではありませんでしたが、活動範囲が少し狭まっ
てしまいました。しかし、細かくてもできること二つに注力し、様々な活動を実行しました。生徒会役員一人一人が新しい行事の設立や服装規制の緩和など、難しい課題に取り組んでこられたのは農産高校生徒の皆さんのご協力があったからこそです。実現できなかったものもありましたが、この先の交渉などで役立つ前例を作り、来年度の生徒会の基盤は今年度よりも確かなものになりました。

これから本格的に始動する新たな生徒会には大いに期待しています。農産高校をより良くし、生徒に寄り添った運営をしていただけることを祈っています。共に活動してくれた役員皆さん、そして手助けして頂いた先生方に心から御礼申し上げます。一年間本当にありがとうございます。



三年二組のクラス目標

三年二組担任 澤野菜緒子

卒業おめでとう。これから社会に出る君たちに三つ伝えたいことがあります。まず、一学年の時からクラス目標としている三つのルールを覚えていますか？

一つ目「先手必勝の挨拶をする」二つ目「整理整頓を心がける」三つ目「授業を大切にします」です。なぜ、これらのルールを作ったかということ、社会ではこれらのルールが当たり前だからです。クラス目標と社会のルールを重ねてみると…

まず一つ目「挨拶」です。家族や友達、バイト先などで挨拶をしない、してこない人はいますか？ いないですよ？ 人とコミュニケーションを取る上で「挨拶」は必要不可欠です。挨拶をして挨拶が返ってくればお互いに気持ちいいですね？

二つ目は「整理整頓」です。これは人間性が現れます。きちんと整理整頓ができる人はスケジュール管理など自己管理ができる人ですが、君たちの中で身の回りが汚い人はいませんか？ 基本、その人たちは自己管理ができず、遅刻や提出物が不十分であったりしていませんか？ きっと周りから「だらしのない大人」と思われることでしょう。

そして三つ目は「授業」です。ここでは「仕事」に置き換えます。仕事を大切にしなければどうなりますか？ 仕事を簡単に辞め、無職になり、生活していくことが難しくなるでしょう。だから簡単に「遅刻しました」「雨だから遅れます」などと言ってはなりません。

これから君たちは、「高校生」ではなく「大人」として扱われます。きちんと「先手必勝の挨拶をする」「整理整頓を心がける」「仕事を大切にします」の目標を持ち続けてほしいと思います。「だらしのない惨めな大人」にならないよう心から願っています。がんばれ！



みんなとの思い出

三年二組担任 片岡せりな

卒業おめでとう。あつという間の三年間でした。みんなにとって、思い出深いこととはどんなことですか？

担任不在で始まった入学式。ネタにして笑ってくれるけど、本当に残念で、今でもふとした時に落ち込んでいます。

農業と環境の授業で、たくあんやみそ汁を作ったこと。びっくりするくらい塩辛かったですね。

初めての映画撮影。棒読みのセリフが逆に味を出していて、とても気に入っています。

二年生になって、中華街で食い倒れたり、せっかく横浜まで来ているのに全然関係ない遊びや買い物したりもまた良しかったですね。

修学旅行の民泊では、町育ちのみんなは大丈夫かな？ と心配していたけど、のびのび、楽しそうに過ごっていて安心しました。特に食事が豪華でうらやましかったです。

二年生の文化祭は、単管と木材でメリーゴーランドを作ったね。コンセプトを伝えきれなかったけど、あんなに大きいものをみんなと作れて達成感もひとしおでした。

三年生は、体育祭で盛り上がり、そこからは進路でそれぞれ忙しかったですね。文化祭は、みんなのやりたいこと全部入れて、たくさんお客さんに楽しんでもらえて、大成功でした。

数えきれない思い出が宝物です。もちろん、やり残したこと、後悔していること、いくらでもあるけれど、でも、きっとみんなも私も、毎日必死でその時の全力を出したと思うので、笑って卒業しましょう。体に気を付けて、お元気で。ずっと応援しています。



卒業おめでとうございます

二年三組担任 田中典子

時が経つのは早いもので、あっという間の三年間。とうとう卒業の日がきました。

数年前に新型コロナウイルス感染症が流行し、中学校では修学旅行や色々な行事が中止や延期となり、学校行事を経験していない中、二年生の十二月にはよみうりランド校外学習、二年の秋に北海道修学旅行、三年になると体育祭では中心となり、応援合戦に取り組みました。ようやくできるよつになった体育祭なので、団長や副団長、ダンスリーダーは手探り状態でしたが、コースをまとめていました。

文化祭も農産の中で久しぶりの模擬店、「味噌焼きそば」ができました。普段、色々とか心配になるクラスでしたが、その時はそれぞれが力を発揮して、頼もしさを感じました。

高校では三年間一緒のクラスでお互いのことを分かってくれる友人がいる生活をしてきました。しかし、これからまったく違う道に進む時がきました。農産で出会った仲間を大切にしてください。きつと皆さんなら大丈夫。そしてこれからはそれぞれがそれぞれの場所でまた新しい仲間をつくって欲しいと思います。皆さんを理解してくれる、大切にしてくれる、そんな仲間を見つけてください。

卒業おめでとうございますー！



つらくなったら楽しいことを妄想しよう

二年四組担任 加藤 誠

人事を発表します。

校長、所ジョージ。副校長、梅沢富美男。教務主任、池上彰。生活指導主任、北斗晶。進路指導主任、林修。養護教諭、壇蜜。芸術科、YOSHIE K. 農業科主任、城島茂。一組担任、吉川晃司、二組担任、橋本環奈、三組担任、永野芽郁、四組担任、加藤誠・・・

もしもこんな人たちが先生として仕事をしている学校があったら楽しそうじゃない？朝、正門で北斗晶先生が、竹刀を持ってスカートを短くしている生徒に笑顔でヘッドロックをしてスカート狩り。式ではYOSHIE K 先生がクリスタルピアノで校歌を伴奏し、休み時間は保健室が男子生徒で溢れかえり、城島茂先生は屋上でコメの栽培、林修先生の尽力で毎年、東大に二〇名以上合格者を出す。修学旅行は所ジョージ校長がダーツで行先を決める。

まあ、ありえないよね。だってこれは私の妄想ですから。

これから社会にでると今まで経験したことがないような困難が立ちまわっているかもしれない。つらいことがあるかもしれない。でも恐れることはないさー！つらくなったら楽しいことを妄想しよう。現実逃避でもいい。いつか解決への近道が見つかるよ。さあ上を向いて一歩ずつ前に進もう。

卒業おめでとう。

